

ボルボックスで見る多細胞生物への進化 ～生物教育での取り扱いを考えよう～

日時 2025年5月24日（土）午後1時30分～3時30分

話題提供者 奈良女子大学 生物科学領域 教授 西井一郎 氏

生物進化の大きな
ステップについて
一緒に考えましょう



【趣旨説明】

くるくる回るボルボックスの美しい姿に魅せられた方も多いと思います。しかし、高等学校教科書では、いくつかの教科書でボルボックスの写真を見るくらいになってしまいました。一方、1990年代末から分子生物学的手法がこの生物にも用いられるようになり、様々な発生現象について遺伝子レベルの解析が行われてきました。ゲノム配列に関してもクラミドモナス、ボルボックスをはじめ多くの近縁種も含めて、解き明かされています。単細胞生物から多細胞生物への道筋を考える上でも興味深いボルボックスに焦点を当て、その研究内容と魅力を紹介していただきます。参加者の皆さんとは、教材化について議論をしたいと思います。

クラミドモナス



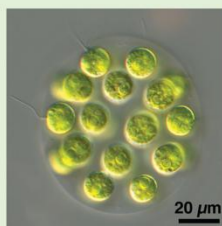
ゴニウム



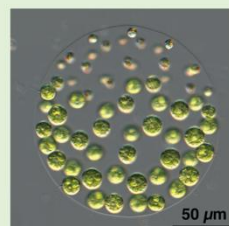
パンドリナ



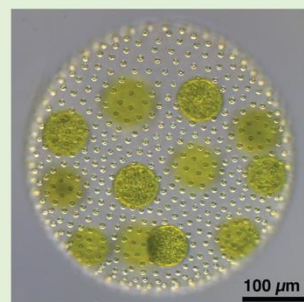
ユードリナ



プレオドリナ



ボルボックス



※ 参加費 無料

※ 申込方法 グーグルフォームからお願いします。

申込 QR コード→

<https://forms.gle/hmmz5tSdPhaK9wAg8>



※ 参加者には、2～3日前までにズームミーティングIDとパスコードをお知らせします。

※ 問い合わせ先：生物教育研究所 info@tibe.sakura.ne.jp

連絡先電話番号：090-5367-9778 （中道貞子 生物教育研究所研究員）

※ T&D は、教師の主體的・対話的で深い学びを目指しています。当日の議論を円滑に進めるため、「疑問に思うこと」や「聴きたいこと」などを、できるだけ申込フォームにご記入ください。

【註】生物教育研究所について

生物教育に関わるさまざまな活動を続けている生物教育者（主として、フルタイム勤務を終えた者）で構成されている研究機関。

研究員は、それぞれが関心のあるテーマについて研究活動や啓蒙活動を行っている。

所長：片山舒康（東京学芸大学名誉教授） HP <https://tibe.sakura.ne.jp/index.html>